

2025 ISMRM & ISMRT Annual Meeting & Exhibition

山崎 康之

北海道大学病院 放射線診断科

2025年10月31日論文受領、最終受理2025年11月4日

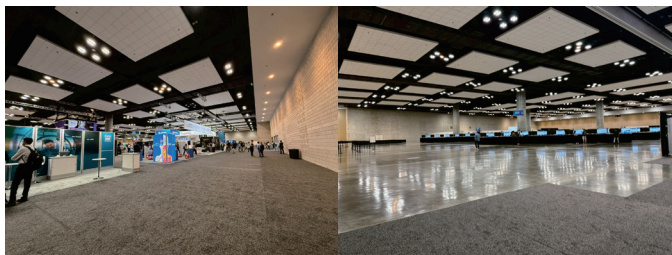
2025年5月10日から15日にかけて「2025 ISMRM & ISMRT Annual Meeting & Exhibition」がアメリカはハワイ州にあるホノルルで開催され、発表を含め参加させて頂いた。

自分は「Impact of Transcatheter Aortic Valve Replacement on Blood Flow and Fluid Dynamics in the Aorta and Cervical Artery」という演題で発表した。重症大動脈弁狭窄に対する経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVR)は広く行われている手技であるが、近年では認知機能改善に寄与している可能性が示唆されており脳血流上昇効果が考えられている。今回自分は4D flow MRIを用いてTAVR前後における頸部血管の血流・血行動態の変化を評価したものとなる。

発表はデジタルポスター形式で行われ、広いポスター会場に並べられたモニターの前に立ち、既定の時間に質問に来た人に都度説明するという形式だった。一人当たりの持ち時間は1時間で、最初はほとんど人が来なかったが、15分を過ぎたあたりから途切れなく閲覧者が押し寄せてくるようになり、最終的には数名に囲まれることになった。質問も多く寄せられ、英語が

苦手な筆者としてはその受け答えが適切にできていなかったと考えられるが、指導医の常田先生にも助言いただき何とか無事に終えることができた。1時間は長いようで、必死で対応していたらあっという間に終わり、気付いたら持ち場を交代する時間になり次演者の先生がやや困った顔をして待っており大変申し訳なかったと反省している。結局時間内に受けられなかった質問に関しては、別の場所でノートパソコンを用いてスライドを提示しながら対応することとなった。

今回、宮坂アワードを受賞させて頂き、学会参加の貴重な機会を得ることができたことに深く感謝する。発表にあたりご指導頂いた工藤教授、常田先生、循環器内科の先生方、会期中の臨床業務を引き受けて頂いた北海道大学病院放射線診断科の皆様様に改めて感謝申し上げたい。開催地がハワイということもあって、家族帯同での旅行も兼ねていたが、学会以外の時間は観光も行うことができ、とても充実した内容となった。



左：企業ブース

右：ポスター会場



左：発表の様子

右：打ち上げ



ビーチにて。筆者と娘。